

## 藤本忍 & エモーション

### 藤本 忍 (ふじもと しのぶ/トランペット)

今治市生まれ。ファンキー・ジャズを聴いて傾倒する。稲垣次郎ビッグソウルメディアで有望な新人としてデビュー。のちに高橋達也と東京ユニオンにスカウトされ、1976年、スリーブラインドマイスより「God the Spirit」をリリースする。以後、金井英人グループ、岡本章生とゲイスターズなどでソロ・プレイヤーとして活躍する。原信夫とシャープ&フラッツに抜擢され、1980年に「Jazz Unlimited Live'80」を発売する。その後、宮間利之とニューハードオーケストラに入団。1981年、世界各国のミュージシャンが一同に集まった、インドでのジャズ・ヤト~~2~~ フェスティバル」に出演。



翌年、SMSレコードから発売された「ミスティ」では「アランフェス・コンチェルト」と「ほしぎ」のフィーチャーで好評を博し、芸術祭優秀賞を受賞する。1984年、中村達也グループで、藤本のオリジナルであるタイトル曲を含むアルバム「ルカス」を発表。その後、山下洋輔パンジャ・スウィング・オーケストラに加入。日野皓正、坂田明、渡辺香津美などのゲストと共演する。

一方、これと平行して、自己のグループ「藤本忍&エモーション」を結成。その演奏は1992年、イタリアの新聞「セラ」誌でも紹介され、絶賛された。1995年10月には、ラッツパックレコードよりリーダー・アルバム「ホープ」のCDを全国発売。1996年以降は、日野元彦、村上ポンタ秀一、渡辺文男、向井滋春、中村誠一、峰厚介、本田竹広、市川秀男、山下洋輔らの一流ミュージシャンとセッション活動を行いながら、自己のグループを率いて全国各地でコンサート活動を展開している。



### 竜野美智子 (たつのみちこ/ピアノ)

東京都出身。東邦音楽短期大学を卒業後昭和56年フジテレビ主催のフリーバルコンテストで優秀賞を受賞し東京を中心にライブ活動を通じて様々なミュージシャンと出会い数多くの事を学びその後全国の活動を中心にスイスのモントルー・ジャズフェスティバルにミーナバンドで出演1999年にハイチ共和国でCD「カルチャーショック」を発売7月にカナダのモンリオール・ジャズフェスティバルに出演。女性ピアニストで現在わが国で有数のプレイヤーとして藤本忍&エモーションで活躍中。

### 大西 慎吾 (おおにし しんご) ベース

群馬県出身。北海道大学工学部大学院卒。21歳のときジャズ研究会でベースを始める。学生時代から札幌市内のジャズ・スポットで演奏活動を開始。卒業後、3年間の社会人生活を経て、1994年に上京。現在は都内を中心に活動。TVドラマ音楽など録音に参加。大徳俊幸、平山恵勇、フリー・ジャズの板倉克之らと共演「Jazz Life」誌に連載ページを持つ広瀬真之トリオのレギュラー・ベーシストを務める。



### 茂森輝哉 (しげもり てるや) ドラムス

札幌市出身。坂田稔(ニューハード)中村よし夫(元シャープ&フラッツ)に師事。元グレン・ミラー・オーケストラのザッカー・ピーターソン・トリオでプロデビュー。東京ディズニーランド・バンドなどを経て、中尾ミエ、モト冬樹、有馬徹とノーチェ・クバーナ、ペドロ&カプリシャスで演奏。一方、小・中・高等学校での演奏活動(テン・グループ)も行う。その後、藤本忍&エモーションに参加。現在に至る。

### 大草 ミーナ (おおくさ みーな) ボーカル

東京都出身。幼少よりピアノを学び、即興音楽に興味を持つようになる。大学在学中にボーカリストを志し、同時にジャズ・ピアノ、理論、作曲を学ぶ。1992年よりライブ活動を開始。東京を中心に、各地でライブ活動を行っている。近年では、若手の海外ミュージシャンとの共演、ポップスの作曲、アレンジなどの活動のほか、1998年スイスで行われたモントルー・ジャズフェスティバルへの自己のグループでの出演、横浜ジャズブロードムナード新人コンペティションにおける優秀賞受賞など多彩な活躍を見せている。クラシック、ロック、ソウル、ラテンなど、



影響を受けた音楽のジャンルは幅広い。現在は、ジャンルにとらわれない心が歌う”歌を目指す。そのオリジナリティや斬新やアレンジ、知性を秘めた歌声は、高い評価を受けている。